

<子育てひろば・ここすき！が始まりました>

小さいながらも、子どもたちが自信を持ち、友だちと共感し合いながら力強く成長していくための「子育てひろば・ここすき！」が、10月9日から始まりました。今回は、“ひろば”の様子を少しお伝えします。

当初は10組の予定でしたが、22組の応募があり、今回は全員を前半後半で2つのクラスに分けて受け入れることにしました。どちらもすくすく成長して欲しいとの願いをこめて、それぞれつぼみ組、わかば組と名づけました。

初日は、私たち職員も、初めての事業の開始ということで少し緊張しましたが、登所してくる親子の皆さんも、いったいどんなことをするのだろう？と緊張でいっぱいだったと思います。児童館に慣れていているという子も、遊具の設定などいつもとは勝手が違い、とまどいながらも、目新しい遊具やおもちゃに興味を持ちながら、お母さんと一緒に遊び始めました。

親子で集まって手遊びをすると、楽しかったようで、帰りの集まりのときに「アンパンマン！（の手遊びをしたい）」と、リクエストする子がいたり、また絵本の読み聞かせをすると、子どもたちは思ったよりも興味を持って、ニコニコしながら見ていました。

2回目、3回目になると、自分のお気に入りのおもちゃに真っ先に向かっていき、遊びだす姿も見られるなど、少しずつ“ひろば”の雰囲気慣れてきている様子です。

“ひろば”では、友だちと同じおもちゃを使いたくて取り合いになったり、友だちと同じように遊びたいのに思うようにできず、じれたり…と、家庭ではあまり経験できない場面に遭遇します。泣いたり、怒ったり、我慢したり、譲ったり、その子なりに、気持ちを出したり、気持ちを切り替えたりしています。

同年齢の友だちの中で遊ぶ経験は、一人で遊ぶのと違い、いつも自分の思い通りになるとは限りませんが、友だちと一緒に楽しさを実感できたり、友だちがやるのを見て、「ようし、自分もやってみよう」と思ったり、おもちゃを譲って、「えらかったね」と褒められたり…と、とてもたくさんの学びがあります。

まだ、始まって数回ですが、そんな場面がたくさんあり、3月まで続けていく中で、子どもたちがどんなに成長していくだろうと想像すると、ワクワクします。

お母さんたちに対しては、「どんな場面でどんなふうに声をかければ、子どもが自信を持つことができるか？」ということや、「この場面では、手を出さないで子どもの気持ちを待ってあげるといいよ」などのアドバイスを、これから少しずつ伝えていきたいと考えています。

まずは、子どもたちが、この“ひろば”が大好きで楽しく通ってきてくれるよう、楽しい活動を計画していきたいと思っています。

